

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料 (1班)

ワークシート2 (発表用資料の作成)

基本目標案 普代村における安定した雇用を創出する

基本的方向 新しい雇用の場の確保

25年後の理想の普代村

トップブランドが生まれている (県内、県外)、若者による企業設立、中小企業が普代に支所を置きたくなるような環境がある、地元に戻ってきた人の働く場がある、2次・3次加工の工場、水産加工場の建造、公社設立、6次産業の雇用の場がある、民間企業が工場をかまえる

問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・建設する土地の確保 ・工場建設場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地 ・廃校舎活用 		
<ul style="list-style-type: none"> ・工場建設の企業は 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の分散化 		
<ul style="list-style-type: none"> ・力のあるリーダーになろうとする人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規起業者の支援 ・小中学校からの起業に対する学習 		

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料 (1班)

ワークシート2 (発表用資料の作成)

基本目標案 普代村における安定した雇用を創出する			
基本的方向 安定した収入の確保			
25年後の理想の普代村 安定収入、第一次産業にも安定した収入がある、働いたら働いた分の賃金がもらえる、安定した運営 (企業、商店)			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・安定的な生産が可能か？自然条件に左右されないように	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄養施設の建設 ・売れる物、生産する物を増やす ・ブランド化 (単価向上) 	生産者	産業の維持、後継者の増加

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料 (1班)

ワークシート2 (発表用資料の作成)

基本目標案 普代村における安定した雇用を創出する			
基本的方向 魅力のある雇用の場の創出			
25年後の理想の普代村 仕事の選択肢がある、都会から帰ってきた人の働く場、若者の雇用増大、女性・高齢者の働く場がある、女性の雇用拡大、女性がパートに出れるような場所の増加、老若男女それぞれの求める雇用の存在、村内外にも働きに出る 20代 30代の増加、浜で働くのは若い人が多い、子供がなりたいたいと思えるような職種がある、定年後の人の労働場所の確保			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな職種が望まれているか？ ・若者は1次産業をしたがらない ・労働人口（若手）が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施 ・安定収入、作業効率化 ・子づくり 	村民	雇用の場、雇用者の増大

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 対象層の確定			
25年後の理想の普代村 ニート招集、変わり者・大学生・外国人・マニア招集、シングルマザー招集、何かのメッカになる			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・営業周知の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの活用 ・団体に営業 ・口コミを重要視する企業の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部の住民、企業 ・大学生 	・人を集める
・一過性になる可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない ・PDCA サイクル 	・招集した住民	・持続させる
・ニートを集めた場合に移住後もニートだったら…	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の研修と丁寧な情報提供 ・家族との連携 	・ニート、講師、行政、家族	・労働力の確保

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 目玉の創造（強い印象と集客力を持つものこと）			
25年後の理想の普代村 ハイパー普代水門、バイパスから見るイルミネーション、毎月1回巨大イベント、誰でも参加できるイベント、一人増えたら大騒ぎ			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・お金、財源	・スポンサーをつける、探す、国からの補助、ソーシャルファンディング	・大企業、国	・資金集め
・モチベーション維持	・定期的なPR、強いリーダー、休憩できる時期をつくる	・村長、人気者	・イベント時高いモチベーションを維持運営するサイクルのバランスを保つ
・人手の確保	・ボランティア・シルバー人材を活用、期間限定で都市部から雇用	・誰でも、学生・老人、ホームレス	・人材確保、働いてもらう
・定着までの我慢	・期間を決める、PDCAサイクル	・運営主体	・一過性のものになるのを避ける

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 住環境の充実			
25年後の理想の普代村 休憩・交流の場がほしい、村民が住み続けたい環境、子育てしやすい環境を知ってもらう、子供が22歳になるまで教育費をサポート、どこかに移住してみる			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・多様なニーズへの対応方法	・アンケートの徹底、少数意見を大切にする、住民主体で活動する	・住民	・ニーズの把握、自分の望むことは自分です
・他の自治体に移住した場合に帰村しない可能性がある	・帰ってくることをルールとして定める、交換移住にする	・移住者	・移住の現実を知る、他地域の情報収集

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 住居の拡充			
25年後の理想の普代村 伝統文化を継承してくれる人は家を無料で提供、ヒット商品開発者に家を提供（家賃無料）、アパート公営住宅が多くある、まず住む場所、国道沿いを整備してアパートを、期間限定で住むことができる（費用はかからない）、移住者支援（家賃無料）、アパートマンションたくさん（探しやすい）、駅の近くに住宅、建築材料バイキング			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・売る人でないか→建築材料バイキング	・規則を決めて運用、廃材の公募	・利用者、住民	・住みやすい環境の提供
・土地	・地権者との交渉	・地権者	・土地の確保
・治安の悪化→ホームレス	・パトロール隊をつける	・住民、警察	・治安維持

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 職業支援			
25年後の理想の普代村 路上OK、こんぶ留学（小中学生）、無料で漁師体験ができる、農業体験ができて野菜がもらえる、大学、介護合コン			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・説得できるか、受入先の確保は	・粘り強く説得、メリットを対象者に説明、先駆者が事例を見せる	・農漁業者	・スムーズな受入先確保
・介護合コンで溢れた老人はどうするか	・次回へ持越し、介護者を多く募集	・老人、介護者	・介護合コン、就労支援、独居老人の解消

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（2班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 普代村への新しい人の流れをつくる			
基本的方向 観光の発展			
25年後の理想の普代村 3村同盟、手厚すぎる観光サービス、緑の村整備、キャンプ場活用、普代村のPR（SNS）、来村のシルシ			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・野田、普代、田野畑の3村同盟について普代は橋渡しできるか	・交流人事、特産品の交流、互いの強みを認め合う、宿連携、交通機関の活用	・3村の村民、よその村	・3村連携強化
・運営主体の育成（誰がやるのか）	・専門家の招聘、やる気がある人のサポート、都市部から公募	・専門家、住民、都市部の住民	・ビジョンの明確化、運営主体設立

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（3班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
基本的方向 ワークライフバランスの推進（女性の社会進出）			
25年後の理想の普代村 お母さん達の〇〇会をつくる、待機児童ゼロ（保育所定員アップ）、既婚者の村限定休日をつくる、父親の有給休暇消化率を上げる、病児保育、お母さん達を外の世界に派遣			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・各職場の状況把握が難しい、ワークライフバランスの意味を知らない	・ワークライフバランス勉強会開催、有給休暇消化率対決をさせる	・子育て世帯	・意識改革
・若い女性の意見を言える場が少ない、若い人が加入しにくい	・子育てサークルをつくる	・子育て世帯	・若い女性の意見を言える場の創出

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（3班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
基本的方向 子供達への教育支援			
25年後の理想の普代村 塾（学業・スポーツ）、高校生への通学の支援、高校の通学費（下宿費）助成、楽しい児童公園、3人以上の子供を産んだ家族の公共料金減額、普代愛を育む教育			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・指導者がいない、人材不足、ニーズの把握	・アンケート調査、専門職の奨学金制度	・学生	・所得格差の解消、村へUターンしてもらい、スペシャリスト（オリンピック選手）を育成する

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（3班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
基本的方向 出合いの場の創出			
25年後の理想の普代村 上神田精肉店さん協賛コンブたれBBQコンパIN駅前広場（三鉄にも協賛してもらおう）、結婚に踏み切りやすい環境、ジオパークを利用した交流イベント、他市町村とのスポーツ交流、結婚相談所をつくる			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・参加者が少ない、出合い願望の創出魅力の伝達、情報配信不足	・IT活用、他市町村の婚活イベントに参加、参加したくなるような宣伝	・独身男女	・結婚してふだいに住む

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（3班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
基本的方向 子育ての切れ目のないお金の支援			
25年後の理想の普代村 共働き・専業どちらにも公平助成、普代村に就職した子供の親へ助成			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・予算不足、不公平感がある（保育園利用者と未利用者）	・給料 UP で税込 UP、家庭保育者へも助成	・子育て世帯	・村の子どもは村民全員で育てている意識をもつ

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（4班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
基本的方向 コミュニティ改革			
25年後の理想の普代村 地区行事を地区だけでやらない、一部のがんばる人にかたよらない体制づくり、シェアハウスをつくる、地区を少なくする			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・役場だけでなく村民参画	・意識改革（外を知る）	・全村民	・意識改革
・村民の理解	・行政を知ってもらう	・全村民	・意識改革
・問題の先延ばし	・現状を知ってもらう	・全村民	・意識改革

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（4班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
基本的方向 健康で恵み豊かな普代村			
25年後の理想の普代村 子供たちへの漁業体験・教育、多世代憩いの場（スポーツ大会）、スポーツ大会（野球以外も）			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・各世代、地区の交流の場がない	・交流の場の造成、周知	・全村民	・豊かな村づくり
・村を知る子ども達の育成	・村の魅力を伝える	・全村民（主に子ども）	・豊かな村づくり
・活動経費（持続的な活動）、人がくるのか、参加者確保			

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（4班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
基本的方向 安全・安心の普代村			
25年後の理想の普代村 福祉に従事する人の収入増、福祉従事者に対する支援、除雪（一人暮らしの高齢者）、高齢者を利用、高齢者向け送迎・買物支援			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・福祉従事者の減、収入、予算	・収入の増と勤務体制の見直し、高齢者が減少してきた場合も加味した計画	・福祉従事者、福祉を志す村民	・福祉の充実

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（4班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
基本的方向 生活環境の充実			
25年後の理想の普代村 村内での買い物等完結、コンビニ、緊急などに自分たちで対応できるよう24時間営業の店			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・資金、参入業者、用地	・コンビニ誘致、ネット通販)	・コンビニ大手	・お金の循環
・需要がなく維持可能か	・マーケット把握、マーケティング	・村民	・お金の循環、生活環境充実

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料（4班）

ワークシート2（発表用資料の作成）

基本目標案 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
基本的方向 情報化社会への対応			
25年後の理想の普代村 光回線、ICT活用教育、ネット環境整備、ドローンの活用			
問題点・課題	対応・解決策	対象	目的
・ネットワーク環境整備後の利用者確保、需要拡大	・インターネットの利便性を周知（講習等）、PC配布、SNS等での現代型コミュニケーションを周知	・全村民	・村外への意識向上、村内の利便性向上
・予算	・需要の確保	・全村民	・村外への意識向上、村内の利便性向上